

行財政改革大綱・集中改革プランの素案がまとまりました

『時代の変化に対応した新しい国東市の形成』のために

このままでは4年後に市の基金が枯渇するという財政推計を踏まえ、この危機的な状況を改善するために、市は「行財政改革大綱」及び「行財政集中改革プラン」の策定に取り組んでいます。この大綱・プランは、今後の改革の指針となるものです。

このほど、最終案へ向けた「素案」がまとまりましたので、その概要をお知らせします。

なお、平成18年度の取り組みはすでに始まっており、総人件費抑制のため、昨年10月から職員の給与を5%カットするとともに、特別職の報酬のカットもすでに行われています。

大綱・改革プランの素案の概要

行財政改革の目標

行財政改革は、行政が最少の経費で最大の効果をあげ、市民が求めるサービスを最良の形で提供するために、既存のシステムを不断に見直し改善していく、行政にとって普遍的な課題です。

本市が、時代の変化や多様化、複雑化する行政課題に的確に対応し、将来にわたって持続的に発展する新しい自治体へと生まれ変わるために、

『時代の変化に対応した新しい国東市の形成』を行財政改革の目標とします。

行財政改革の基本方針

この目標の実現に向けて、次の4つの基本方針を定め、改革を推進します。

- 1 効果的・効率的な行財政運営の推進
- 2 組織・機構の整備と新たな人事管理制度の構築

- 3 市民の視点に立った行政サービスの提供
- 4 市民協働によるまちづくりの推進

計画の期間

平成18年度から22年度までの5年間で計画の期間としています。

行財政改革の基本的な数値目標

5年間で約21億円の歳出削減を行います。

平成22年度末の財政調整基金残高を11億円以上保有します。

※基金総額では21億円以上保有します。

財政指標による目標設定

- ・経常収支比率を100%以内になります
- ・起債制限比率を15%以内になります
- ・実質公債費比率を17%以内になります

1 定員管理

◇期間中に67人(10.8%)の削減をめざします

・平成17年4月1日現在の職員数(617人=市民病院を除く)を基準とし、計画終了時点の平成22年4月1日現在の職員数の目標を550人と設定し、期間中に67人(10.8%)の削減をめざします。

※参考 H17.4.1 617人=530人(消防以外)+87人(消防)

H22.4.1 550人=463人(消防以外)+87人(消防)

◇定員管理の適正化(新陳代謝効果)による効果額3億5千万円

- ・退職者数に対する削減数を考慮しながら、3分の1採用を原則とします。
- ・業務の委託化や民間活力の導入を推進し、正規職員の臨時化・嘱託化を視野に入れた事務の見直しを行います。

2 組織機構

◇職員の減少に見合った組織機構の見直し

・現在の国東市の行政組織は、【部】と【総合支所】が曖昧なまま並存し、効率的な機能が十分に果たされていない状況です。住民サービスを低下させないためにも、組織機構を常に検証し見直していきます。

「行財政改革大綱」「行財政集中改革プラン」への意見を募集します。

みなさんの声を計画の実施に反映させていきたいと考えていますのでご意見をどしどしお寄せください。

【募集期間】 1月31日(水)まで

【応募方法】 自由な書式に意見と①住所②氏名③電話番号④年齢を書いて下記のいずれかの方法でお送りください。

①Eメール

gyokaku-suishin@city.kunisaki.lg.jp

②はがき、封書

〒873-0502 大分県国東市国東町田深280番地2 国東市役所行革推進室

③市長への意見箱 「行財政改革への意見」と必ず明記して、国東市役所、各総合支所、アストくにさき、みんなんかん、武蔵中央公民館、安岐総合支所湊出張所に設置している「市長への意見箱」に投函してください。